

12月の本校の教育活動アンケートにご協力いただき、心より感謝申し上げます。また、インターネットによる回答も多数ありました、ご協力に感謝申し上げます。さて、アンケートの結果や学校内の自己評価から、今後、子どもたちにとって「一人一人のよさを認め合い笑顔いっぱい清水小(自分が好き・友達が好き・学校が好き)」づくりの取組を2学期に引き続き全教職員で進めています。ご家庭での励ましや成功体験が子どもの成長にかかせません。さらなるご家庭の協力で、子どもたちがいきいきと輝いてきています。ご協力をよろしくお願ひします。

アンケートの回収率は 80.5%でした。※ 1内の数字は、Aよくあてはまる+B少しあてはまる の全体に占める割合です。

学校としての取組について

1 学校は、子ども自らが考え、動く授業づくりで学力向上に努めている。(清水プラン1)	[91.6%]
2 学校は、責任感や思いやり、奉仕の心をはぐくむための教育活動を行っている。(清水プラン2)	[92.6%]
3 学校は、体力向上の取組を通して、体力向上を図っている。(清水プラン3)	[84.8%]
4 学校は、特別支援教育の視点からの学級づくりを行い、学びが広がる、居心地のよい教育環境づくりを行っている。(清水プラン4)	[94.5%]
5 学校は、読書活動を推進し、読書好きな子どもを育てている。(清水プラン5)	[91.4%]
6 学校は、チャレンジカードで目標をもち、自信と笑顔いっぱいの子どもを育てている。(清水プラン6)	[89.2%]
7 学校は、家庭へ情報提供(学校・学年等のたより、HP等情報の提供)を積極的にしている。	[90.7%]
8 学校は、保護者・地域の願いにこたえようと努めている。	[92.2%]
9 学校は、教育相談の機会をつくっている。	[88.5%]
10 学校は、安全に注意したり、生命や人権を大切にしたりする態度を育てることに努めている。	[94.9%]
11 学校は、居心地のよい学校づくりのために学校全体で、共通して指導をしている。	[87.8%]

家庭・学校での子どもの様子

1 元気に進んで挨拶ができる子どもに育っている。(清水っ子行動目標)	[83.1%]
2 司会力、話し合う力、質問力が身についた子どもに育っている。(清水っ子行動目標)	[72.6%]
3 「ほんわか言葉」がいつも使える子どもに育っている。(清水っ子行動目標)	[70.2%]
4 掃除を時間いっぱい、無言で行う子どもに育っている。(清水っ子行動目標)	[74.9%]
5 本で調べたり、本を読んだりする子どもに育っている。(清水っ子行動目標)	[71.9%]
6 自分や他人を大切にできる子どもに育っている。	[92.6%]
7 時間や学校の決まりを守って行動ができる子どもに育っている。	[86.4%]
8 「はい」とはっきりと返事ができる子どもに育っている。	[78.1%]
9 人の話を聞くことや自分の考えで話すことができる子どもに育っている。	[80.0%]
10 自分で調べたり考えたり、自ら学ぶ姿が育っている。	[72.6%]
11 家庭での学習がきちんとできる子どもに育っている。	[79.1%]
12 命を大切に、安全に行動できる子どもに育っている。	[96.3%]
13 学校が楽しく、毎日登校するのを楽しみにしている。	[87.6%]

家庭教育

1 家庭では、交通ルール、外出時のマナー等をできるように話している。(自転車の乗り方・外出時の約束)	[98.8%]
2 家庭では、相手を意識した挨拶ができるように話している。	[94.6%]
3 家庭では、正しい言葉の使いかたについて話している。	[92.7%]
4 家庭では、ちくちく言葉が減り、ほんわか言葉が増えるように話している。	[85.1%]
5 家庭では、学校のきまりについて守れるように話している。	[96.3%]
6 家庭では、早寝早起き朝ご飯の習慣定着できるように話している。	[91.8%]
7 家庭では、家庭学習習慣が身につくように話している。	[89.1%]
8 家庭では、学校からのプリントやお子様の連絡帳、ノートなどを心がけて見ている。	[86.6%]
9 家庭では、名刺をつけることや忘れ物がないか心掛けて声かけをしている。	[93.0%]

3学期の取組の柱

○アクティブ・ラーニングを踏まえた授業・活動づくり ○いじめ「0」をめざす

- 子どもが意識して活動ができるように、見通しを持たせる。
- 掃除に意義と責任を持ち進んでできるように指導する。
- ブックウォークに全員が参加できるようにする。
- 司会力、話し合う力、質問力が身につくような指導を行う。
- 「ほんわか言葉」を意識した言葉づかいができる。
- 児童への共通した声かけを行う。

○進級・進学に向けて個々の気持ちを高める授業を仕組む

【プラン1】子ども自らが考え、動く授業づくりで学力向上

- 子どもが主体的に学ぶ授業づくりを行う。
- 司会力を高めるため、学習計画に沿って自主的に、低学年は算・国、中高学年は算・算・社・理は司会団が進めるように努める。また、思考力を重視した話し合いができるようにする。
- 家庭学習は、一週間に指定した曜日自主学习の日とする。(中学年以上)
- 全般的な指導体制の充実を図る
- ・学年単位で児童指導にあたる。また、学年のまとめの学習は、計画的に進める。
- 学校図書館を効果的に活用し、ブックウォークの推進に努める。

【プラン2】責任感や思いやり、奉仕の心をはぐくむための教育活動を行う

- 人権教育を高めるため身の回りや二週間を行う。
- 挨拶ができる、広げるを目的に、いじめ防止のために、あいさつ運動を行う。
- ・5・6年生が率先して行う。
- 挨拶レベル3をめざした取組を学年で行う。
- 「学年1取組」「1学級1取組」を自尊感情と学級への帰属意識を高める活動のまとめを行う。
- お世話になった方に、感謝の気持ちを伝える取組を行う。

【プラン3】体力向上の取組を通して、体力向上を図る

- 体育科等の学習の中で持久走や縄跳び等一人一人にめあてを立てさせ体力向上に取組ませる。
- 外遊びの奨励(体育科で遊び紹介)を行う。

【プラン4】特別支援教育の視点からの授業づくり、学級づくりを行い、学びが広がり、居心地のよい教育環境づくりを行う

- 特別支援コーディネーター、担任、保護者と連携し、児童の進級がスムーズに行えるようにする。
- 特別支援学級で学ぶ子どもたちの視察を紹介し、ます。
- いじめ「0」を推進する。
- ・北九州市対人スキルアッププログラムの実施と日常的なソーシャルスキルの実施。
- ・2月はいじめ撲滅月間とし、「いじめアンケート」の実施と全児童の面接を行う。また、教育相談月間を行います。
- 特別支援コーディネーター(原、有吉、松永、宮崎)です。
- 多層指導モデル(MIM)を1学年で実施し言語のつまづきを少なくする。
- 学年の生活ルール、学習ルールを子どもたちに理解させ、楽しい学校生活が送れるよう指導する。

【プラン5】読書活動を推進し、読書好きな子どもを育てる

- ブックウォークの参加者を増やす。

【プラン6】チャレンジカードで目標をもち、自信と笑顔いっぱいの子どもを育てる

- 5つの子どもの行動目標を意識させたチャレンジ目標や家庭学習への目標づくりに生かす。
- 自分のよいところや友達のよいところ見つけを行うなどする。
- チャレンジカードを持ち帰ったらほめてください。

ご家庭でもお願いします 励まし成功体験をたしざんでできるようにしてください

- ①元気に進んで挨拶ができ、挨拶レベル3を達成させる。
 - ②進んで家庭学習を行う。
 - ③「ほんわか言葉」で相手に優しくする。
 - ④忘れもの・登校時間にゆとりを持たせる。
 - ⑤ブック・ウォークに挑戦できるように励ます。
- 以上の5つについては、ご家庭でも意識させて行動に結びつけてください。